

# 第26号



発行責任者／瀬端 豪  
編集委員／仁平 光洋  
藤田 華枝  
神奈川知芳  
武井 大輔  
木名瀬直美

平成24年3月31日発行

(題字 豊崎幸枝)

〒309-1107  
茨城県筑西市門井1677-21  
TEL.0296-57-5125 FAX.0296-57-5126  
URL <http://www.kohtokukai.jp>  
E-mail : sumireen@intio.or.jp



## 目次



施設長あいさつ・ご利用者様抱負・すみれ園年男★年女	2
すみれ園もちつき・忘年会	3
ナイスハートふれあいフェスティバル2011	4
すみれ園鍋昼食会	5
防災訓練委員より・祝成人！！・編集後記	6

# 施設長あいさつ



すみれ園施設長

瀬 端 毅

## この一年を振り返って

巨大地震と津波、そして原発事故を引き起こした東日本大震災から一年が経ちました。当施設は、幸いにも大きな被害はなかったものの、余震への不安、停電、断水、燃料不足等の中、法人内の施設が協力し合い、ご利用者様、職員が団結して危機を乗り切ったことは、今後の施設運営にとつて大きなプラスになつたと感じております。

また、開園二十八年目を迎えた建物・設備は、幾つかの故障個所を抱えており、特に冷暖房設備につきましては、震災の影響から、機器の供給がストップし、一年遅れの工事になり、ご利用者様には大変ご迷惑をおかけいたしました。その他、配管の漏水等、問題個所はありますが、来年度以降、段階的に改善していくたいと思います。

毎年課題となつていた職員の定着につきましては、今年度、退職者ゼロを達成できそうです。職員の定着が図れれば、ご利用者様へも安定した安心な支援が提供でき、サービスを受ける側の方々にも喜んでいただけだと考えております。

最後に、来年度は初心に帰り、職員一人ひとりが「丁寧な支援を心がける」を目指にしより良い支援を提供していきたいと思います。

## 2012年ご利用者様今年の抱負



## すみれ園 年男★年女

料理を出来るようになります。

★生活支援員  
草間 ゆりこ

美容に力を入れたい。

★生活支援員  
中澤 瞳

食べ過ぎ、飲み過ぎに注意して健康第一を維持したいと思います。

★生活支援員  
武内 芳夫

もちつき  
した。  
一年を締めくくる行事として餅つきが行われました。ご利用者様・職員共に一年間の思い出、そして来年に掛ける思いを込め「よいしょ、よいしょ」と大きな掛け声を掛けながら行いました。ついたお餅は鮭とあんこの二種類で昼食時に提供され皆様とても美味しそうに召し上がっていました。

**生活支援員 栗原 圭助**  
昨年は東日本大震災が起これ、すみれ園も少なからずその影響を受け、ご利用者様・職員共にどこか元気の無い日が何日か続きました。そんな

# もちつき



**生活支援員 関口 知充**  
平成二十三年十二月二十一日（水）に、ご利用者様の忘年会が行われました。今回の忘年会で、特にご利用者様に楽しんで頂けたかな？と私が思う催し物としてボーリング大会が印象に残ります。

ご利用者様がボールを転がせる「滑り台」を用意し、工夫を凝らした結果、全員参加をして頂く事が出来ました。ゲームは各六チームに分かれて倒れたピンの合計で順位を競い合い、上位入賞チームには賞品が用意されている事もあって寒さも吹き飛ばすほどの熱戦が繰り広げられました。

私もご利用者様のボールを持つ素顔に、日頃観る事の出来ない真剣な表情を観る事が出来て、とても嬉しく感動しました。

昼食会ではカラオケ大会が行われる中、お寿司や散らし寿司・オードブル・ケーキなど、沢山のごちそうがテーブルに並びご利用者様全員舌鼓を打たれ、食に歌に楽しんで頂き、閉会前には家族会からクリスマスプレゼントのサプライズもあり、とても喜んで頂けることが出来ました。

私は今回、司会を担当させて頂き、大変良い経験をさせていただいたと思います。また、この忘年会をサポートしてくださった職員の皆様方、どうもありがとうございました。



すみれ園から2名の受賞者が出来ました!!

平成二十三年十二月九日から十二月十三日の期間、常陸太田市のパルティーホールで、ナイスハートふれあいフェスティバル2011 ナイスハート美術展が開催されました。

一般の部に出品された作品が審査を受けた結果、書道の部において、青柳真代さんの作品「天声」が茨城県知事特別賞、長谷川美子さんの作品「好古」が茨城県身体障害者福祉団体連合会・会長賞を受賞しました!!

十二月十日にパルティーホールにて行われた受賞式では、長谷川美子さんが、茨城県身体障害者福祉団体連合会・会長賞の代表として、表彰状を授与されました。



# ナイスハートふれあいフェスティバル2011 ナイスハート美術展

## 茨城県知事特別賞授賞

すみれ園 青柳 真代

まさか受賞するとは私自身、思っておらず受賞したと聞いてとても嬉しかったです。書道の部・茨城県知事特別賞を受賞する事ができ、今年も受賞できる様、頑張つて作品作りに励みたいと思います。



## 茨城県身体障害者福祉団体連合会 会長賞授賞

すみれ園 長谷川 美子

私が日中活動“習字”的時間に書いた作品が、このたび茨城県身体障害者福祉団体連合会・会長賞を受賞しました。受賞の知らせを聞いた時は、驚きと同時に喜びを感じました。

表彰式に行つた時には、会場内いろいろな人達の作品が飾られていて「綺麗に作つてあるな。皆さん頑張っているな。」と嬉しく思いました。代表で賞状をもらいましたが、この場にお世話になつた習字の先生が一緒に来ることが出来たら、どんなに喜んでいただけかなと思いました。

ナイスハート美術展にご利用者様が出品した作品を展示しています。ご来園の際は、ぜひご覧になって下さい。





上手にできました!

折り紙のお雛様!

二月二十九日、鍋屋食会を開催しました。当日は朝方から降りだした雪が積もり始め、銀世界を眺めながらの食事となりました。施設の中は雛人形や、ひな祭りをイメージした飾り付けで春を演出しました。テーブルに飾った折り紙の雛人形を見て「細かいところまで折っていて、上手にできているね」とご利用者様からお褒めの言葉をいただきました。

本日の主役である鍋は、いろいろな食材の味が楽しめるよう塩味の寄せ鍋を準備しました。テーブルの上に乗せられた鍋の中身を見て、火を点ける前より「おいしそう」「豪華だね」と言つた声が聞こえます。メインの食材は「常陸牛」と「軟骨入りの手作りつくね」です。鍋ができあがり、食事が始まるごとに出汁の効いた味付けを気に入つていただけたようで、様々な薬味を楽しみながら、あつという間に鍋の中は空っぽになってしまいました。しめには、ご飯と生卵でおじやを作り、身体の中から暖まることのできた鍋屋食会となりました。

# 鍋屋食会

生活支援主任 小島 結香

二月二十九日、鍋屋食会を開催しました。当日は朝方から降りだした雪が積もり始め、銀世界を眺めながらの食事となりました。施設の中は雛人形や、ひな祭りをイメージした飾り付けで春を演出しました。テーブルに飾った折り紙の雛人形を見て「細かいところまで折っていて、上手にできているね」とご利用者様からお褒めの言葉をいただきました。

本日の主役である鍋は、いろいろな食材の味が楽しめるよう塩味の寄せ鍋を準備しました。テーブルの上に乗せられた鍋の中身を見て、火を点ける前より「おいしそう」「豪華だね」と言つた声が聞こえます。メインの食材は「常陸牛」と「軟骨入りの手作りつくね」です。鍋ができあがり、食事が始まるごとに出汁の効いた味付けを気に入つていただけたようで、様々な薬味を楽しみながら、あつという間に鍋の中は空っぽになってしましました。しめには、ご飯と生卵でおじやを作り、身体の中から暖まることのできた鍋屋食会となりました。



## 防災訓練 実施して います



# 防災委員より

## 被災地であるということ

生活支援員 富田 耕司

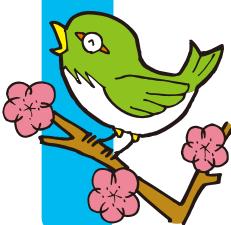
もうすぐ東日本大震災から一年が過ぎようとしています。今でも地震は断続的に起きているのが現状です。地震灾害も含め、災害はいつどんな時やつてくるのかは分かりません。すみれ園では年に四回、夜間三回・日中一回（内一回は筑西消防立会いの元）防災訓練をしています。

色々な時間、色々なシチュエーションを毎回考え、どういう風に初期消火・避難誘導を行つていったら良いかと全職員を対象とした訓練を実施しています。色々な場所での災害トラブルを想定する為、みんな必死で訓練にあたっております。

その時に色々なアイデアを取り入れて次に活かせるように繋げています。  
ここすみれ園でも震災の爪跡が残っています。震動による一部亀裂が生じたり、また、大きな地震がいつ来るのかとニュース等でも言われており、実際にいます。震動による一部亀裂が生じたり、また、大きな地震がいつ来るのかと

“日常の静けさ戻り初音かな”

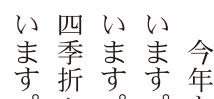
## 編集後記



祝 成人!!

生活支援員 飯島 望

二十歳になりました。目標は、お金を貯めてバンドツアーやる事です♪ これからもよろしくお願ひします。



今年も庭にウグイスが春を知らせにやつてくると思います。去年とは趣の違った春が静かに近付いてきます。何気ない日常の出来事が幸せに思えるような、四季折々が魅せる『音』を日々大切に過ごしたいと思います。



T・K